

北海道女性研究者の会 第77回例会
公開講演会のご案内

日本にはびこる植民地主義
—なぜ「植民地責任」を研究するか—

広瀬 玲子

北海道情報大学名誉教授

2023年9月16日（土）13時～14時30分

対面とオンライン（Zoom）のハイブリッド方式

会場：北海学園大学豊平キャンパス教育会館1F AV4
（地下鉄東豊線 学園前駅下車3番出口から直結）

申込先：hw-mail@hw-rscher.sakura.ne.jp

オンライン参加希望者は必ずご連絡下さい。

申込締切：9月10日（日）

参加無料、会員以外の一般の方々の参加も歓迎します！

1945年の敗戦を日本は総括したのか。一億総懺悔の声は一人一人の国民の戦争協力・植民地における行為を振り返り、自省する機会を奪った。「二度と戦争はいやだ」という戦争への忌避感をてこに、「文化的平和国家」建設というスローガンが受容されていく。海外植民地で植民者・支配者としてふるまった日本人は「引揚げ者」＝受難の民となり、責任を追及されることはなかった。アジア諸国との軋轢はここに起源を持っている。

（会員へのお知らせ）

講演終了後、総会（30分程度）を行ないますのでご参加ください。

後援：札幌市教育委員会、北海道教育委員会

主催・連絡先：北海道女性研究者の会

E-mail:hw-mail@hw-rscher.sakura.ne.jp